

今こそ
声をあげましょう

市民病院を守りましょう!!

日本共産党が医師会長と懇談

国が公立病院つぶす圧力

12月18日開かれた議会全員協議会で、碧南市民病院の経営状況と、国の再編統廃合問題が報告されました。

9月26日厚生労働省は全国の公立公的病院424カ所を名指しし「再編統廃合」を促しました。碧南市民病院はじめ愛知県下では津島・あま・みよし・一宮の自治体病院など9カ所が指摘されました。

「市民病院はどうなるの」と市民の不安の声が広がっています。

国の自治体病院つぶし地域医療こわしを許すなど、全国知事会、市長会、保険医協会、全労連など「公表したリストの白紙撤回を」と大きな運動が広がっています。

なぜ碧南市民病院が対象に

今回厚生労働省は、近隣病院との距離。車で20分以内を基準に、碧南市民病院は安城厚生病院から18分だからとして対象にしました。碧南市内でも、端から端まで車で30分かかります。地域の実情も見えない不当な基準に全国からも怒りの声が上がっています。

「救急3000件、ガン治療の市民病院なくせない」と医師会長

日本共産党市議会議員団は、なんととしても市民病院を守らねばと、12月24日、医師会長の加藤病院の院長を訪問し対話しました。加藤院長は「碧南市民病院は、年間3000件の救急医療を受けている。がん治療の実績も高い。民間病院としても頼りにしている。なくしてはならない」と訴えられました。また「医師は、大学も1000人増員し、医師全体でも増えているのに、今までの大学病院を中心とした医師配置がくずれてしまった。高度医療や大病院に集中し、地域医療に医師がこない偏重は国が

何とか改善すべき」と言われました。

「市民病院を守る会」をつくりましょう

日本共産党は、医師会さん始め幅広い市民で「市民病院を守る会」をつくりましょうと呼びかけさせていただきました。

リニューアルで、ピカピカに

碧南市は、2019年度から3年間で総額13億円の市民病院リニューアル計画を予算化しました。2019年度は約5億円で、個室化で病床数を320床から289床に39床減。トイレをすべて洋室で車いす対応にする。リハビリやダイニングのスペースの拡張グレードアップなどです。医師・看護師の知恵を活かして現場の改修案もまとまっています。市長が今やるべきは、誠実に予算を使い30年経った市民病院をピカピカにみがえられれることです。

直営の訪問看護で地域介護と連携

碧南市民病院は、市直営の訪問看護ステーションを院内に設置して、医療と介護の訪問を年間延1,231人に8,425回の訪問を行っています。在宅介護、在宅治療や、人生最後の看取りを行っています。日本共産党は、全国でも希少な市直営の体制を高く評価してきました。

高度医療と急性期・第2次救急のすみわけ

病気の発症から完治までの急性期医療。24時間体制で措置が出来る第2次救急病院として、地域になくしてはならないのが碧南市民病院です。超高度な医療は、安城厚生病院や藤田学園病院に任せて、身近な医療や予防対策まで行う地域の病院としてすみわけや使い分けすることも大切です。

市長は迷わず守る立場に

ねぎた市長は、全員協議会の最後に「9億円の赤字が出ては続けられない」と弱腰発言をしました。

日本共産党以外の議員も「守れ」の明確な発言ができませんでした。

医師1人で、年間1億円収益をあげるといわれます。医師確保に全力をあげ、国の地域医療後退にストップの声をあげるべきです。市民参加の、市民病院のムダをなくし、職員の接遇改善を提案する恒常的な組織を構築することも必要です。

今こそ、県下7位の財政力の活用。さらに法人税の最高税率化（年間7億円増で病院に使える）。ふるさと寄付金の活用も可能です。市民と病院職員の不安を解消してこそ安心の碧南市政ではないでしょうか。

親身な看取りに心から感謝

市民から、市民病院の温かい対応に敬礼の言葉が寄せられています。

市民病院・在宅医療担当の金澤副院長にみてもらい、ガンの家族を在宅で看取りました。とても親身に診てくださりありがとうございました。

亀岡院長に「早期乳がんで早く手術をした方がいいと、早めに手術の予定を入れてくれました。その後の放射線治療は、機械がないため安城更生病院に通い命拾いました。

在宅看取りに熱心な医師。（以前講演もされたこともあり）乳がん患者さんを空いた日に早めに手術し、患者さんに親身になってくださる外科の医師。とても素晴らしい医師もみえ、市民にはなくてはならないです。



2020年は希望の年に 日本共産党の三議席で市民病院守ろう

アンケートに104人が守って
 日本共産党が行っているアンケートに137通の回答が寄せられています。
 そのうち、104人が「市民病院を守るべき」との明確な回答となっています。合併が2人。廃止が1人と比べても圧倒しています。
 右表の特記事項にも、切実な市民病院への期待や願いが書かれています。
 日本共産党は、この声を受け止め、命と健康を守る拠点としての碧南市民病院を守るために力を尽くします。他の議員は「守れ」と表明できていません。4月の市会議員選挙では、日本共産党の3議席を伸ばし病院を守りましょう。

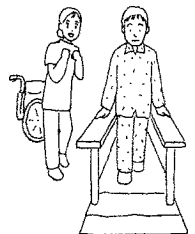
- 医師不足は変わらない。もっと医師を増やすべき。
- 医師を増やす(内科)。救急で小児の先生にも見てもらえると行きやすい。
- 地方に相談なしで一方的に発表するのは問題。発表したことにより優秀な医師が来なくなる。
- 民間でできないことを市民病院がやってくれるから。
- 市民病院の医師看護師のレベルアップと40年前の新川病院の様な白い病室の改善に第一に手を付ける。
- 安倍政権でこのような計画が出ているのを知りませんでした。国と各病院とのやり取りで円満解決に持っていけるような方向性を模索してほしい。利用する側なので利便性が悪くなる内容は困りものですね。
- 病院が近くにあってほしい。
- 病床数削減反対。
- 近くて頼れる病院にしてほしい。
- 1人暮らしのため遠くはいけないから近くにあるとよい。
- 安心。
- 市民病院を続けるのなら、病棟をきれいにする。臭い対策が必要。
- 身近な市民病院は行きやすく親しみやすい。
- 市民病院を守るのではなく、市民を守るために必要だから。
- 病院のみなさんは一生懸命やって感謝しています。市民病院の問題と安倍さんのことは、いまいちピンとこない。
- リニューアルが決まっていたのに取り消しになってしまったそうで残念です。
- 現状赤字決算が続いている中、経営努力や採算改善を優先すべきなのでは、必要最小限のサービスに改善を。
- 碧南市民だから。
- 他の市と組んで大きくしてください。もう少し先生を増やしてください。
- 市民病院がなくなれば、救急等の時行く病院がなくなり困ります。
- 内科の受診が難しくなっている。
- 病院従事者の賃上げ。
- 現市民病院の受付時間、歯科等の診療内容等見直す点は多い。
- 救急の時のためには欲しいです。
- 病院内の無駄を見直す。
- 今後益々、医師不足は深刻。高齢者増加となり市民病院は必要。ただし病院経営等を考えると近隣病院との融合も視野に入れて各病院の特性を持って運営することが必要と考える。
- 他市に行かないくらいの市民病院にすること。
- 地元の総合病院は必要。
- 国が何を言っているのかわからない。だいたい官僚の言っているのは机上の論理で実態にあっていない。人の心のない政策ばかり。
- 国への抗議は現実味がない。確実性のあることを。
- 市民を守る、市民の病院。
- 安心医療の充実。健康になるための権利が充実されていないのはおかしい。
- 外国人の方の言葉の壁が1人当たりの診療時間、待ち時間が増え効率がいいとは思えない。対応の工夫を。
- 夜間の救急病院は必要。
- 私はまだ町の病院を利用しているが、大きな病院も大事。
- 国の考えが変わらないと下では何もできない。
- 碧南市には市民病院以外夜間に見てくれるところがないため。
- 市民病院は、必要です。遠くの病院に行くのも病人には大変。大部屋のベット周りが狭い。
- せっかくできた市民病院充実を願いたい。市外の病院に行かずとも安心して治療できるよう。



市民病院についての設問回答数 (複数可)

厚労省が碧南市民病院など全国424の公立病院などの実名をあげて再編・統合を迫る安倍政権の強引な計画に、自治体や医療機関関係者から猛烈な批判があがっています。

- ①国に抗議すべき = 15
- ②市民病院を守るべき = 104
- ③救急・不採算部門を担う
市民病院は必要 = 65
- ④リニューアル/
など改善を
= 25
- ⑤その他 = 3



19日行動12月19日(木)
 午前11時～12時スーパーヤマナカ前

日本共産党碧南市議団



山口はるみ 岡本守正 磯貝明彦
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
 三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253

お気軽にご意見ご要望を